

すばるの四季

社会福祉法人 星の会
No.40 2023年 3月

〒263-0054 千葉県稲毛区宮野木町 395 番地 2
TEL 043-305-5986
FAX 043-305-5987

共同生活援助すばる

マネージャー 吉田 愛子



冷たい風の中に春の訪れがかすかに感じられる今日この頃です。人は光と音と香りで春の訪れを感じると聞きました。皆さんは如何でしょうか？

さて、前号では、「冰山モデル」で言われている「利用者さんの隠された心に思いを馳せて支援していきましょう。」と書かせていただきました。今号では、令和4年度から義務化された「障害者虐待防止法」について少し述べてみたいと思います。

虐待には、児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待と本当にたくさんの虐待があります。大きく言えば、権利侵害、人権侵害そのための権利擁護です。人間は、なぜ人の権利を奪ったり侵害したりしなければならないのでしょうか？ 今、世界ではロシアとウクライナが戦争を行っています。ロシアの侵攻により、ウクライナでは建物が破壊され人は亡くなり、領土は一部ロシアのものとなっております。1年以上戦っていますが停戦の兆しは見られません。誰かが止めることは出来ないのでしょうか？

虐待もしかり。人が人である限り、虐待は起り傷つく人々が出るのでしょうか。そういうことが、出来るだけ起らないように、私たちに虐待はいけないことと意識させるために法律がつくられ、それを犯せば罰せられるという世の中になってきております。自己発信出来ない利用者にとっては、心強い味方が出来たのだと思いますが、それを行使することもままならない利用者でもあります。周りの支援者の気づきに期待し、日々の支援の中で、小さなことでも、これとは疑問に思ったり相談したりできる職員になって欲しいと思います。

そこで、今年度星の会でも、虐待防止指針や要綱を作成し、それに沿って虐待防止の研修を行いました。改めて、日々の支援の在り方に目を止めることが出来たのではないのでしょうか。また、チェックシートを用いて職員の気づきを行っています。例えば、毎日職員には安定した精神状態で利用者に接していただきたいのでメンタル面のチェックを毎月行っております。その他にも「虐待防止チェックリスト」を用いて、利用者の身体的虐待や心理的虐待・性的虐待・経済的虐待・ネグレクトなどについての確認、また自己チェックリスト表を用いて、利用者への体罰・差別・プライバシーの侵害・人格無視・強要制限などの確認も行っています。利用者の皆さんが、安心して安全にグループホームの生活が出来るように職員は日々努力しています。



もうすぐ年度が替わります。来年度も、利用者と職員が、共に泣いたり笑ったり喜んだり怒ったりして暮らしていきたいと思います。さらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

～グループホーム 年末年始の様子～

つばさ寮

12月24日（土）にクリスマス会を行いました。皆さんが書いてくれたありがとうメッセージには「プレゼント交換楽しかった」「クリスマスケーキおいしかった」「ごはんおいしかった」など楽しんで賞えた様子が伺えました。（加藤）



すみれ荘・ゆりの木荘・ハウス花見川

2023年を迎えて

穏やかな元旦の朝。すみれ荘、ゆりの木荘、ハウス花見川の利用者と検見川神社に初詣へ行きました。

行きは徒歩、帰りはバスで出かけることにしました。

歩きながら利用者とお節は食べた？おもちはや？今年はどんな風にしたいなど、色々話をしました。神社に着くと利用者の方々は手を合わせ何を祈っているのか、神妙な表情でした。何人かの利用者が神社まで歩くことが出来ませんでした。今後は安全に外出できるように対応を考えていこうと思います。

また、グリーフという言葉があります。悲嘆とか深い悲しみという意味です。利用者にとっては、どうして歩けなくなったのだろうと悲嘆したかもしれません。まさしくグリーフと言えます。我々支援員はグリーフケアも考えていかなければと、強く感じました。

最後に、「何を祈ったの？」という問いにほとんどの利用者が健康・元気でいることと話されていたので「それではこれからも元気で暮らしましょう」と返答しました。（佐藤）

～W&S イベント～

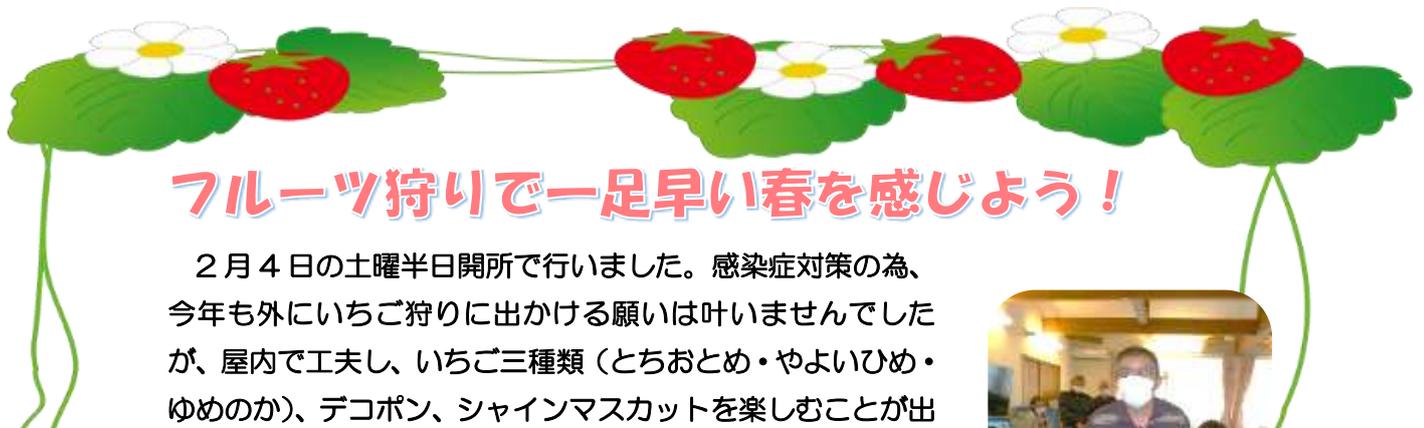
クリスマスパーティー



12月10日の土曜半日開所で行いました。調理活動でクレープとピザトーストのクリスマスプレートを作り美味しくいただきました。

その後の恒例ビンゴ大会ではこれまで以上の盛り上がり！

上位入賞者にはメダルのプレゼントが渡され、皆さんの嬉しそうな表情が印象的でした。(竹内)



フルーツ狩りで一足早い春を感じよう！

2月4日の土曜半日開所で行いました。感染症対策の為、今年も外にいちご狩りに出かける願いは叶いませんでしたが、屋内で工夫し、いちご三種類（とちおとめ・やよいひめ・ゆめのか）、デコポン、シャインマスカットを楽しむことが出来ました。

「あま〜い♡」「美味しい〜！」沢山の喜びの声を聞くことが出来ました。フルーツO×クイズは、張り切って参加されていました。参加者全員にプレゼントされたいちごのメダルも大好評でした！

(竹内)





虐待防止・身体拘束適正化に関する取り組み

昨今、虐待に関するニュースなどを目にする機会が増えております。このようなニュースを見るたびに、福祉の仕事に携わる者として非常に残念な気持ちになります。ただ、こうした虐待に問題はいつどこで起きてもおかしくないものです。そうした意味では、星の会においても虐待というテーマについて職員一人一人が常に意識をして取り組んでいかなければいけません。

そこで今年度より活動を始めた虐待防止・身体拘束適正化委員会が中心となり、全職員を対象に虐待に関する知識や意識を高める内容の研修と職員自身がメンタルについて理解を深める内容の研修を実施しました。研修では積極的に質問が出され、理解を深めようとする前向きな姿勢が見られただけでなく、研修の参加者同士で意見を交わすなど、より良い支援について改めて考えていくとても良い機会を作ることが出来ました。

今後も定期的に研修の機会を設け、利用者の皆さんが安心して利用できる環境を整えていきたいと考えています。

虐待防止・身体拘束適正化委員会 小川

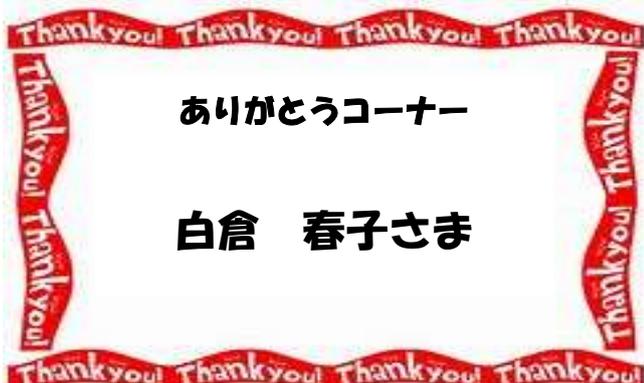
ちゃん付けが虐待になると言うのであれば直さなければいけないと思う

研修を終えて

グレーゾーンを作ってしまったことに気づけた。少しでも不思議に思ったことは、話し合ったりして正しい支援を心掛けたいと思った。

いつでも虐待の当事者になりかねないという緊張感をもって業務にあたる必要があると改めて考えさせられた。

学んだことを活かして、利用者さん達が少しでも気持ちよく過ごせるように頑張りたいと思います。



気がつけば、もう3月も終わり。なんかあっという間だなあと毎年思っています。 竹内